

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢	年齢単位	性別	PT名称	タミフル服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か(就寝中:○、就寝中じゃない×)	発熱の有無	就寝中の場合、就寝時刻から発現までの時間	回復までの時間	戻りして完全回復	発熱持続	患者の記憶	睡眠障害等の既往	運動障害等の既往	光に対する反応	他剤による異常な行動の副作用	異常な行動の既往	異常な行動の具体的な詳細(例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、朝が幻覚を見ていたようだと答えているのか?)	
1	B07002190	1	年	女性	①顔紅 ②嘔吐 ③過量投与	2007/3/12	18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月12日(18:00)顔紅発現。量が多い。内服後、嘔吐が出現したことを内服させた担当がすぐに思い、薬局に問い合わせたところ、量の間違えが確認された。(20:00)顔紅発現。	
2	B07027256	1	年	男性	異常行動	2008/2/2 2008/2/3 2008/2/3 2008/2/4 2008/2/4 2008/2/6 2008/2/6 2008/2/5	-	2008/2/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/02/02(11:30)インフルエンザA型治療のため、本剤(18mg×2/日)処方。処方箋を受け取り、帰宅後すぐ服用。1回目の服用後に症状(暴れる)が発現。暴れて手がつけられなかった(異常行動)発現。同日2回目の服用中止。2008/02/05 本剤服用終了。不明 暴れて手がつけられなかった(異常行動)回復。	
3	B07001353	2	年	女性	①異常行動 ②筋力低下	2007/4/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月1日(午前)本剤服用。(帰宅後)両下肢脱力、大股で歩む症状が発現。本剤服用後、投下して、立って歩こうとするがフラフラしてすぐに転が。大声で叫ぶの2つの症状が出現。母親は、娘の通常と違う異常に驚くも、特に何もせず経過観察した。異常行動は、発熱時に起こった様子。	
4	B07027920	2	年	男性	異常行動 悪寒	2008/01/18 2008/01/19 2008/01/18 2008/01/20 2008/01/20	-	2008/1/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/18 A型インフルエンザに対して、本剤60mg×2回/日処方。午後より服用開始。(晩)異常行動発現(非重篤)。寝ていたり思ったりびくびくして突然飛び上がった。怖がったり震えたりした。2008/01/19 38℃まで解熱。その後、本剤服用続けたが(〜1/20)、そのような症状は出現せず。2008/02/01 再診にて回復を確認。	
5	B06026623	3	年	男性	幻覚	2007/3/1	11:00	2007/3/1	14:00	×	No	0.5	10分〜20分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	速くを免つめ、おぼろげが出る等の症状を訴えた。
6	B07023545	3	年	男性	異常行動 複視障害	2008/1/24	10:30	2008/1/24 2008/1/24	11:40 11:40	×	-	-	不明	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	2008/01/23夜 熱が出始める。 2008/01/24 39.8℃のため、他施設にて本剤処方。(10:30頃)タミフル服用。(11:30頃)熱性痙攣を起し当施設に搬送。経過観察のため入院。(11:40頃)痙攣収束後に意識の戻りは認められ、手足を興奮した様子で動かし、視線は何かを監視する様に動き、口をモグモグ動かしていた。発熱を全く認めなかった。行動異常(非重篤)-発熱障害(非重篤)発現。抗痙攣薬ジアゼパム坐薬使用し入眠。(自然発熱後)異常な行動は無く、発熱も認め通常状態となった。行動異常-発熱障害 回復。 2008/01/25 処方施設に本剤処方量(38mg×2回/日)を処方。 2008/02/07 (12:00)A型インフルエンザ診断にて、本剤30mg内服。(5分後)痙攣(非重篤)あり。臥していた。(20分後)足をつっぱり、白頭になり痙攣の様にならなくなった。痙攣が2〜3分続き、その後死んだように動かなくなった。異常行動、痙攣症状 発現。発熱40.2℃。来院時、症状消失し、意識もしっかりしていた。腹痛-異常行動-痙攣症状 回復。
7	B07026496	3	年	男性	痙攣 異常行動 痙攣	2008/2/7	12:00	2008/2/7 2008/2/7 2008/2/7	12:20	○	-	20分	-	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	-
8	B06026808	4	年	女性	異常行動	2007/3/4	12:00	2007/3/4	17:00頃	×	Yes	5	No	発熱持続	-	No	No	-	No	つじつまの合わないことを感じたり、意味不明の言動があった。この時発熱あり。
9	B07000067	4	年	女性	痙攣	2007/2/28	12:00	2007/2/28	13:00	×	Yes	1	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	痙攣
10	B07000101	4	年	男性	①顔紅 ②幻覚 ③頭痛 ④痙攣 ⑤異常行動 ⑥複視障害 ⑦浮動性めまい ⑧意識レベルの低下	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/4	午前 18:00- 19:00 7:00-8:00 7:00-8:00	2007/3/7	7:30	-	Yes	-	-	Yes	解熱過程	-	No	-	No	3月3日けいれん入。意識レベル低下(非重篤)発現。 3月4日熱がさがる。 3月8日ふらつき、頭痛あり。(12:30)「目の前が真っ暗、見えないう」という、診察時には視力あり。幻覚、視覚異常、ふらつき、顔紅を発現。 3月7日(7:30)「痛い痛い、(部屋)隅を指示して)あそこに何かがあるから痛い」と言う。入眠し、起きた時には訴えなし。
11	B07000152	4	年	女性	痙攣	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	口から泡を吐いているような状態。顔は真っ青。唇は紫アローゼが出ていた。目は開けているがぼんやりしており、両親の問いかけにも反応が悪かった。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:x)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠驚悸 症等の既往	睡眠驚悸 症等の家族 歴	光に對する 反応	他測による 異常な行 動の副 作用歴	異常な行動 に関する既 往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚 を見たのか、親が幻覚を見ていたかどうかと言っているの か?)						
12	B07000201	4	年	女性	①嘔吐 ②間代性痙攣 ③嘔吐 ④意識レベルの低下	2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18	朝夕 朝夕	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	-	内服後、うわ言、痙攣、嘔吐。夕方、回復、嘔吐したためもう一度タミフルを服用させる。朝と同じ症状(うわ言、痙攣、嘔吐)→その後再び就寝。					
13	B07000243	4	年	男性	①異常行動 ②痙攣	2007/3/31 2007/3/31 2007/3/31 2007/4/1	13:00 20:00 7:30	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	-	(低血糖)	①突然笑い出す。 ②両眼球が左上向き、口をバクバクする。呼びかけに反応しない。唇の色が悪くなった。					
14	B07000285	4	年	女性	痙攣	2007/3/13 2007/3/13	12:30 13:15 13:15 15:00 20:00	-	-	-	7時間 発熱性痙攣 が起きてから 7時間後 に回復	Yes	-	No	No	-	No	No	-	-					
15	B07001669	4	年	女性	①幻覚 ②痙攣	2007/2/28 2007/2/28	11:00 21:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2月28日(22:00)全身痙攣5分間。意識あり、やや軽い痙攣。(23:00)39.5°C。全身痙攣5分間。意識あり、やや軽い痙攣。(24:00)痙攣5分間。 3月1日(1:00)痙攣4分間。意識あり。痙攣強。幻覚あり(ママの目が真っ赤でこわいという)(4:00)痙攣2分間。幻覚あり(ママの目が赤い、パジャマに丸いシオがついていると指差して言う。					
16	B07001747	4	年	女性	①幻覚 ②痙攣 ③意識変容状態	2007/3/29 2007/3/30	16:00 6:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月29日(16:00)意識障害、幻覚発現、体温39.6°C。「明日おっぱいを飲みに行く」等、意味不明なことを言い出した。(18:00)痙攣発現。(18:50)救急車にて他院へ。到着時は意識ははっきりしていた。帰宅後も、頭痛、腹痛、嘔吐あり。「頭をとってくれ」と訴えていた。本剤1回目投与から、朝まで記憶がなかった。					
17	B07001807	4	年	女性	痙攣	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	-	-	-	30分	Yes	解熱後	-	No	No	No	No	No	-	3月23日(2:30)30分程度の「発作」。引付なのが悪夢をみたのか、よく分からないと母。(3:00)ひきつけ回復。その後は少しうなり声を上げながら眠ってしまった。					
18	B07000090	5	年	女性	異常行動	2007/2/25	-	2007/2/25	-	x	No	発熱持続 解熱過程	-	No	No	-	No	No	無	「何者かに追われている」との発言。					
19	B07000110	5	年	男性	痙攣	2007/3/19	19:20	2007/3/19	20:00	-	-	-	-	No	-	No	-	No	痙攣(白目をむく発作)						
20	B07000148	5	年	男性	①痙攣 ②意識レベルの低下	2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/15	-	-	-	-	痙攣は10秒 程度 顔色は1時 間半程度	Yes	解熱後	No	-	Yes	No	No	無	幼稚園で約10秒程度、真っ青になりホーンとしていて痙攣を起こしていた。顔色の悪い状態は、約1時間半続いた。(幼稚園保育士から母親が聞いた話)					
21	B07000282	5	年	男性	①嘔吐 ②幻覚	-	-	-	①11:00 ②14:00	-	Yes	-	Yes	-	-	14時間	No	発熱持続	No	No	-	Yes	No	無	①口を噛むようなしびれを繰り返す。 ②多弁、幻覚、物を取るようなしびれを発現。
22	B07001738	5	年	男性	異常行動	2007/4/6	19:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19:00)気分高揚発現。踊ったり飛んだりしたが、そのまま様子を見ていた。					
23	B07002264	5	年	男性	異常行動	2007/4/3 2007/4/4 2007/4/4	(夕) (朝) (夕)	-	-	-	Yes	-	Yes	-	-	1時間以内	Yes	発熱持続	No	No	-	No	No	No	4月4日(21:00頃)就寝していたところ急に足をバタバタさせ、その後「おしっこに行きたい」と話しトイレへ。排尿をすませた後走って戻り、何か早口で喋り(家人に内容は分からなかったとのこと)再度就寝。異常行動の疑い(非重篤)発現。(22:00)その行動があまりに平常の様子と違ったため、異常行動ではないかと当院救急受診。受診時意識清明、見当識良好、神経学的異常所見なかったが、家人の心配が強いため、入院の上経過観察とした。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 症等の既 往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対す る反応	他剤によ る「異常な 行動」の劇 作用歴	異常な行動 に関する既 往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚 を見たのか、親が幻覚を見ていたよと云っているの か?)	
24	B07024355	5	年	男性	譫妄 大発作症	2008/3/9	10:00	2008/3/9	13:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/03/08(21:00) 38°Cの発熱。座薬を使用。 2007/03/09 近医でインフルエンザAと判明し、本剤を処方 され、10時に内服。13時半に、「ちがう、ちがう」等うわごと を言う。15時、嘔吐、軟便あり。16時、スポーツドリンクを 200 ml 飲んで、2-3分後、急に起き上がり、嘔吐した。全身 強直性間代性けいれん、約2-3分。救急車で搬送。	
25	B07024540	5	年	男性	異常行動 幻覚	2008/1/12 2008/1/12	- 17:00	2008/1/12 2008/1/12	18:00 21:50	○	-	1時間	10分	Yes	発熱持続中	No Yes	Yes	No	No	2008/01/11 (午後38.7°Cで受診。患者の保育園でインフ ルエンザが流行。キット陰性。咳があり、気管支炎より診 断。もともと喘息あり、ジスロマックとダイアップ座薬を処 方。至日も熱があれば通院するよう指導。 2008/01/12 40°Cの熱で受診。キットにて微かにA型陽性 のため、タミフル45mg×2回、メブチン、ムコダイン、アスベ リン処方。昨日処方されたダイアップも使用したとみられる。 (17:00頃)タミフル内服。(18:00~18:10)両眼が異常なまばた きを始めた。特に左眼なし。(21:50)全身のふるえが起り、 泣き叫んで部屋の中に目玉がたくさんあると言い続けた。 (22:00)10分くらいで症状はおさまった。家人が心配し、喘息 でかかっている他院を受診。経過観察等で入院となった。 2008/01/14 (朝)退院。 2008/01/15 解熱。 2008/01/16 再び熱がでたため、当院受診。異常行動は 1/12のみとのこと。
26	B07028058	5	年	女性	異常行動	2008/2/8	17:00	2008/2/8	18:00	×	-	-	6時間	Yes	発熱持続中	-	No	-	-	2008/02/08 (17:00)本剤36mg内服。(18:00)異常行動発 現(非重篤)。大声を出す、ふすまを破るなどした。(24:00)異 常行動回復。家族の判断で本剤内服中止。
27	B07000002	6	月	男性	痙攣	2007/2/11	15:00	2007/2/13	16:00	×	No	-	7時間	No	発熱持続	No	No	No	No	痙攣が起きたため入院。
28	B07000278	6	年	男性	異常行動	2007/3/20 2007/3/20	午前 夕	2007/3/21	10:00	-	-	-	2~3分以内 長くても10 分以内	-	解熱過程	-	No	No	No	2007/3/19 (夜)発熱あり。咳ありなし。 2007/3/20 (午前)インフルエンザA陽性。本剤、コカール処 方(経過中コカールは服用せず)。午前と夕に本剤服用。 (44mg×2/日) 2007/3/21 (朝)解熱していた。(10:00頃)朝の本剤を服用す る前にたすに袋り窓を開けようとして騒いでいた。父親が 発見し、抱きかかえ「どうしたのか?」と聞いたところ「窓開 かなかった」と言った。意識して開けようとしたかは不明。異 常行動(非重篤)発現。(11:43)再度受診(この時点ではす でに異常行動は回復している)。2日間は患児から目を離さな いように指導して、本剤を継続することにした。(11:50)異常 行動回復。
29	B07001808	6	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19	夜 朝 夕 朝	-	-	-	-	Yes	No	No	No	No	No	No	3月17日(本剤内服1-2時間後)異常行動発現。寝たまま で最初手足をピクピクさせ、ワーと大声で泣き叫び、全身の 筋肉を硬直させ、目は大きく見開いて一点を凝視していた。 このような異常反応が2~3分続き、この反応中は意識不明 で、母親がいくら呼んでも反応しなかった。5分位更に母親 が子供の名前を呼び続けると、やっと気づいて意識を回復 した。その後、ぐずったり、泣いたりして熟睡する様子で はなかった。 3月18日(本剤内服1~2時間後)寝たまま、まず手足をピク ピクさせワーと大声をあげて泣き叫び、全身の筋肉を硬直 させ、目は大きく見開いて一点を凝視していた。この様な異 常行動が2~3分続き、この間は、意識障害のため、母親が いくら呼んでも正常には答えなかった。約5分後に、やっと 母親の叫び声に気づいた。(夕方)41°Cの高熱があったた め、本剤68.1mgを内服させたところ、同じ様な異常行動が 起こった。 2月26日痙攣(非重篤)、声を発する(非重篤)発現。	
30	B07002053	6	年	女性	強直性痙攣	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27	-	-	-	-	-	-	5分	-	発熱中	-	-	-	-	3月19日本剤内服後、おかしな発音を繰り返す(こわいこわ いといっている)。睡眠中、夜には一度熱が下が、症状は 落ち着く。 3月20日朝から再び発熱。本剤は内服しなかったが、気分 高揚し、妹と遊んでいる最中にはさみで妹の指を傷つけた (ほとんど寝ていない時に発音。眠いはずなのに寝なかつ
31	B07002054	6	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	-	-	-	-	Yes	解熱過程	-	No	No	Yes	No	3月19日本剤内服後、おかしな発音を繰り返す(こわいこわ いといっている)。睡眠中、夜には一度熱が下が、症状は 落ち着く。 3月20日朝から再び発熱。本剤は内服しなかったが、気分 高揚し、妹と遊んでいる最中にはさみで妹の指を傷つけた (ほとんど寝ていない時に発音。眠いはずなのに寝なかつ	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	常態直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠異常 症等の既往	睡眠異常 症等の家族 歴	光に対す る反応	他剤によ る「異常な 行動」の副 作用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚 を見たのか、親が幻覚を見ていたかどうかと答っているの か?)			
32	B07022876	6	年	—	激越	2008/1/12	—	2008/1/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/01/12 インフルエンザ治療のため、本剤(49mg×2/日)投与開始。興奮症状(非重篤)が発現。 2008/01/16 本剤の投与状況不明。興奮症状の転帰不明。			
33	B07023193	6	年	女性	異常行動	2008/01/13 2008/01/13 2008/01/14 2008/01/14	昼 夕 朝 夕	2008/1/14	23:00	○	Yes	1時間30分	不明	Yes	不明	No	No	—	No	2008/01/13(未明)インフルエンザ発症。(午前)体温: 39.3°C。解熱剤を2回使用。(11:00)救急センター受診。 (13:00)インフルエンザA型治療のため、本剤40mg×1/回の投 与開始。すぐ解熱。(19:30)本剤40mg×1/回投与。 2008/01/14(9:00)本剤40mg×1/回投与。(20:00)本剤40mg ×1/回投与。(21:30)就寝。この時点まで審察を認めず。 (23:00)異常行動(睡眠時遊行症疑)発現。「お母さん、お母 さん」と寝言を言い出す。その後閉眼したまま、手で母を追 い求める様子動作〜手足をバタつかせる動作が約1時間 持続。父が揺り起こすと覚醒しその後は異常は認めず。体 温未測定。 2008/01/15(午前)外来受診時にも異常は認めなかった為 無処置。異常行動(睡眠時遊行症疑)回復。体温:36.4°C。 インフルエンザの転帰:軽快・回復		
34	B07000075	7	年	女性	幻覚	2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17	17:00 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/3/12	19:00	○	Yes	—	10分	Yes	—	Yes	No	No	No	No	・寝ていて急に笑い出し、その後泣き出した。 ・「お父さんとお母さんが自分の体の上をジャンプしてい った」と言う。	
35	B07000157	7	年	男性	譫妄	—	—	—	—	×	Yes	—	3時間	Yes	発熱持続	No	—	—	No	—	目を覚まし、お母さんには何も見えないところを指差し「見 える」と言って身震いしながら怯えていた。視線は宙を見 ている様子だった。母親が向かい合わせて抱っこをして捕 まっていた。放せば逃げ出したであろうと思われたので、一 晩中そのままにしていた。ずっと同じではないが、時々指を 差しては怯えてもがく感じだった。	
36	B07000277	7	年	男性	譫妄	2007/3/26 2007/3/27 2007/3/27 2007/3/28 2007/3/28 2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/3/31	19:00 8:00 19:00 8:00 19:00 8:00 19:00 8:00 19:00 8:00 昼寝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月31日 12時ごろ起床し、本剤服用。1時間後、譫妄発現。 20時ごろ他院に来院し22時就寝。翌日回復。		
37	B07001360	7	年	男性	激越	2007/3/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤服用1時間後、30分間泣いたり、父親に殴りかかった (叩いた)という異常行動発現。その後、異常行動は治まり、 以後、本剤2回服用したが異常行動はなかった。		
38	B07001665	7	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2007/2/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月20日異常言動、幻覚発現。		
39	B07001811	7	年	男性	意識変動状態	2007/3/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤2回自服用1時間後、意識障害発現。意味不明な発 言、突然笑い出すなどの症状。		
40	B07001812	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/20 2007/3/21 2007/7/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月20日就寝後に手をばたばたさせて、イヤダイヤダと騒ぐ 3月21日夜と同様のエピソードが2時間おきの頻度で発 現。	
41	B07026573	7	年	男性	異常行動	2008/01/31 2008/01/31	11:30 21:00	2008/1/31	17:30	×	—	—	—	不明	Yes	発熱持続中	No	No	Yes	No	No	2008/01/31 (11:30)本剤1回自内服。(17:30)手もみをし たり、腕組みをくり返す。祖母の洋服を意味なくひっぱたり 祖母に汚い言葉投げかける。近医再診。当院紹介受診し 入院。この間本人の記憶なし。入院後、異常行動はなし。 (21:00)本剤2回自内服。体温:38.6°C 2008/02/01 解熱。 2008/02/02 退院。

165

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠障害 症等の既 往	睡眠障害 症等の家 族歴	光に対す る反応	他剤によ る「異常な 行動」の副 作用歴	異常な行動 に関する既 往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚 を見たのか、親が幻覚を見ていたかどうかと言っているの か?)
42	B06026529	8	年	女性	2007/3/3	2007/3/3	×	No	-	数十分	Yes	発熱持続	No	-	-	No	No	-	嘔吐し、その後発熱が収まらず水をいじったり、紙下をいじったりして呼びかけに答えなくなり、眼球上転、全身強直間欠性痙攣となった。痙攣が止まった後も、呼びかけに応えずに四肢を動かさず意識障害が持続。
43	B07000135	8	年	男性	2007/3/13 2007/3/16	-	×	No	-	1時間弱	-	発熱持続 38.6℃	No	-	-	-	No	-	インフルエンザ治療のため、本剤投与開始。(51mg×2/日) 3/16(23:00)本剤2回目服用後、ベッドの上で跳び始めた。何かに怯えている様子。38℃台。他院小児科へ入院。(病院に行くまでに症状は軽くなっていった) 3/18異常行動回復。退院。
44	B07000164	8	年	男性	-	午前中	×	Yes	-	Yes 5分	Yes	発熱持続	-	No	-	-	No	-	当院から帰宅後、「ボケモン」を見ていたが、母親からの問いかけに返事無し。服薬から30分後に痙攣発現。その5分後、痙攣は落ち着くものの、意識レベルの低下のまま、救急車にて搬送。再来院時、自動運動(口をモグモグさせる、目をパチパチさせる)をしていた。入院し睡眠。その後、夕方にタミフルを再度服用するものの痙攣無し。
45	B07000293	8	年	男性	2007/3/18か19	-	-	-	-	-	No	解熱過程	Yes	-	-	-	No	無	突然泣き出す。現実が夢か分からないと発する。
46	B07001894	8	年	女性	2007/3/13	12:30	-	Yes	-	10分	-	発熱持続	-	No	-	-	No	-	3月13日(12:30)本剤内服後入眠。(14:00)痙攣発現。眼は開いているが、応答なし。10分で軽快。その後、痙攣なし。
47	B07002309	8	年	男性	2007/4/12	-	-	-	-	No	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	No	4月12日(8:50)A型インフルエンザ治療のため、本剤投与開始(投与量不明)。内服後2階に上がり就寝。(13:50)異常行動(ふすまをかくる)発現。2階でバタンという音が聞こえたため、母が行ってみると患児がふすまをかじっていた。呼んでも、目の焦点があわなかった。救急車を要請し、当院受診。受診時、ややボーッとした印象で受け答えも部分的にできなかった。当院入院頭部CT上は明らかな異常を認めなかったため、入院後補液のみで経過観察 4月13日(10:40)異常行動回復。発熱は続いていたものの、受け答えははっきりし、母もいつもと変わらない。
48	B07025432	8	年	男性	2008/1/28	10:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/02/10 異常行動が発現。 2008/02/11 異常行動は回復。
49	B07025433	8	年	女性	-	晩 朝 晩	○	-	3時間	5分	-	-	-	-	-	-	-	-	(不明日)インフルエンザ罹患3日目の壁に診察。腕から本剤を服用。体温は38.5℃。 (不明日)服薬2日目、朝・晩に服用。体温は37.8℃。20:30に就寝。就寝3時間後に、大声で奇声を発し(ア、ギャーといったもの)、尋常でない強さで足をバタつかせ、親を蹴ったりしていた。意識はなく、5分後に再度入眠した。今までインフルエンザでこういった異常行動を起こしたことがなく、今回本剤を服用したことで異常行動が起こったため、本剤を被疑薬とした。
50	B07028438	8	年	男性	2008/1/26	11:00 23:30	○	No	直後	1時間	Yes	不明	No	No	No	-	No	No	2008/01/25(17:00頃) インフルエンザ発症。発熱38℃。 2008/01/26(11:00) A型インフルエンザウイルス感染治療のため、40mg×1回投与開始。38℃。(23:30)本剤40mg×1回投与。38℃。 2008/01/27(0:00)異常行動発現。入眠直後に覚醒した如く発声あり。内容は「死にたい」「自分が死んでいるのが見える」「外に連れて行け」等と話し続けた。 (1:00)突然、覚醒した。異常行動回復。 2008/01/28 インフルエンザの転帰:軽快
51	B06026846	9	年	男性	2007/2/14	10:30	①○ ②×	No	-	10分	No	発熱持続	No	-	-	-	-	なし	痙攣し嘔吐。(14:40)来院時痙攣は治まっていたが、もうろう状態。 問いかけにわずかに開眼。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠薬停 症等の既 往	睡眠薬停 症等の家 族歴	光に対す る反応	他剤に大 きな「異常な 行動」の副 作用歴	異常な行動 に関する既 往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚 を見たのか、親が幻覚を見ていたかどうか?など)			
52	B06026849	9	年	女性	異常行動	2006/3/16	21:00	2008/3/16	22:00	○	Yes	40分くらい	5分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	布団を顔に押し付けたりと不適になり、視点は定まらず、飛び出そうとし、母が捕まえていた。約5分で鎮まる。
53	B07000124	9	年	男性	①異常行動 ②異常行動	2007/2/18	22:00	2007/2/18	24:00	-	No	-	-	Yes	発熱持続	Yes	No	-	-	No	無	平成18年にもタミフル服用により異常行動あり。恐れ、要な言葉。
54	B07001281	9	年		①悪夢 ②睡眠驚愕	2007/2/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤による幻覚がフラウマになり、悪夢、夜間症が発現。
55	B07022879	9	年	男性	錯乱状態	2008/01/09 2008/01/10	18:00 9:00	2008/1/10 2008/1/10	0:00 12:00	×	-	-	3時間(2回目)	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2008/01/08(夕方)発熱(37.8°C)のため当科受診(18:33)。併用薬のみ処方。 2008/01/09 午前中の外来でインフルエンザAと確定診断。本剤処方。(18:00)タミフル1回目内服。 2008/01/10(0:00)突ったり、叫んだり、動き回ろうとし、反応が乏しいため救急要請。近医に搬入。CT、採血。異常なし。輸液後、帰宅。本剤内服継続の指示あり。(9:00)タミフル2回目内服。(12:00)上記と同様の症状が出現(程度はやや軽かったとのこと)。 2007/12/07 A型インフルエンザに対して、本剤54mg/日投与開始(夕方内服)。 2007/12/08 (8:00頃)本剤54mg内服。その後就寝していた。(14:00頃)突然暴れ出した。(14:05)約5分後に正気に戻り、その後薬30分位号泣が続いた。
56	B07024539	9	年	女性	落ち着きのなさ	2007/12/7 2007/12/8	夕 8:00	2007/12/8	14:00	○	-	-	6時間	5分	Yes	-	No	No	No	No	No	2008/01/29 インフルエンザAと診断。 (10:00)本剤(52mg/日)、クラリスド(投与量不明)服用。 (11:00)異常言動(非重篤)発現。 本剤内服後1時間して奇声を上げるなど異常行動あり。他院に救急車で搬送され入院。 2008/02/04 異常言動回復。
57	B07028290	9	年	男性	異常行動	2008/1/29	10:00	2008/1/29	11:00	-	-	-	-	-	発熱持続中	-	-	-	-	-	-	2008/01/28 (11:50)インフルエンザAと診断。(12:30)本剤48mg服用。(15:00)寝ていて足をバタバタさせて暴れる様な状態であった。目は開いていて呼んでも目を覚まさない。この様な状態が5時間くらい続いた。その後落ち着いて夜は普通に睡眠した。せん妄(非重篤)発現(15:00~20:00)。 2008/01/29 午後当院受診した時は、異常は認められなかった。せん妄回復。
58	B07027258	9	年	男性	譫妄	2008/1/28	12:30	2008/1/28	15:00	○	Yes	2時間	5時間	Yes	-	-	-	-	-	-	No	2008/02/18(時刻不明)インフルエンザ発症。発熱39.4°C(時刻不明)他院にて、インフルエンザA型と診断。本剤(57mg×2/日)処方。2/18~20の3日間は服用したとのこと。服薬状況詳細は不明。併用薬剤はなし。カロナール処方されていたが服用せず。 2008/02/20(夜)興奮状態出現。なかなか眠らず。せん妄状態(非重篤)発現。 2008/02/21(朝5:00頃)起きて興奮して暴れる。(2/20)の事象と一連のものと考え(13:00)せん妄状態回復。
59	B07027838	9	年	男性	譫妄	2008/02/18 2008/02/18 2008/02/19 2008/02/19 2008/02/20 2008/02/20	不明	2008/2/20	夜	○	Yes	-	-	No	解熱過程	No	No	-	-	-	熱性痙攣	2008/02/18(時刻不明)インフルエンザ発症。発熱39.4°C(時刻不明)他院にて、インフルエンザA型と診断。本剤(57mg×2/日)処方。2/18~20の3日間は服用したとのこと。服薬状況詳細は不明。併用薬剤はなし。カロナール処方されていたが服用せず。 2008/02/20(夜)興奮状態出現。なかなか眠らず。せん妄状態(非重篤)発現。 2008/02/21(朝5:00頃)起きて興奮して暴れる。(2/20)の事象と一連のものと考え(13:00)せん妄状態回復。
60	B06026131	10	年	男性	異常行動	2007/03/05	朝	2007/03/05	服用 10時間後	-	No	-	5分	Yes	発熱持続	No	-	-	No	-	無	「ぼくの首がここに見える」「お父さんお母さん眠って勝手に、やったー」「うろこが見える」など。5分くらい変なことを喋った(自宅にて)。
61	B07000074	10	年	女性	異常行動	-	-	2006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	しゃべりまくっていた。
62	B07000107	10	年	女性	異常行動	2007/3/5	18:00	2007/3/22	22:00	-	-	-	数分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	家電をぶくった。
63	B07000270	10	月	女性	①痙攣 ②発育遅延	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与2分後、脱力・意識消失・アトーピーク血腫。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	発熱 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠異常 症等の既往	睡眠異常 症等の家族 歴	光に對する 反応	他剤によ る「異常な 行動」の副 作用歴	異常な行動 に関する既往	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が 見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)	
64	B07001663	10	年	男性	臆妄	2007/3/4 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/7 2007/3/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月4日異常な行動はなかったものの「お父さんがお母さんを殺そうとしている」など、非現実的なことを放していた。3月5日せん妄回復。	
65	B07000100	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/18 2007/3/18	午前 20:00	2007/3/18	23:30	○	No	-	2-3分で回復	Yes	-	Yes	No	No	No	(23:30)うつぶせで寝ていた所、急にわけのわからないことを言い出した(2~3分位)、興奮状態あり。家人がなだめすかしていたら、おとなしくなり休んだ。(23:50)症状回復。家人が本人に聴取した所「地球がどんどん小さくなり自分がどんどん大きくなり恐かった」と話した。
66	B07000200	11	年	女性	①意識消失 ②痙攣	2007/3/9 2007/3/9	昼 夕	-	-	-	Yes	-	5分	Yes	-	No	-	-	-	前日から十分な睡眠があったと思われるが、明確な時間帯では不明とのこと。
67	B07000241	11	年	男性	恐怖	-	2回目	-	夜	X	No	-	1時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	「怖い、怖い」とうわ言を言った。
68	B07001737	11	年	男性	①激越 ②興奮	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	13:00 23:30 昼 22:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月19日(3:00)眠っていたが、急に起き上がり「宿題が分からん」などと叫び、寝言かと思っていたが、四分の頭をドンドンと叩き始めた。紙をかきむしった(抜くほどではない)。1時間の間に3回ほど。(4:00)興奮状態回復。3月20日(2:00)興奮状態発現。前日とほぼ同様の症状であった。(4:00)興奮状態回復。
69	B07001805	11	月	男性	痙攣	2007/4/1 2007/4/2 2007/4/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月1日けいれんを2回程度発症。インフルエンザのため本剤処方。本剤服用後も痙攣を認める。4月2日入院。本剤2回服用。4月3日(22:00)発熱は続き、数秒~10数秒の痙攣が頻発。	
70	B07000202	12	年	男性	痙攣	2007/3/20	-	2007/3/20	16:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月20日(16:00)痙攣発現。3月22日痙攣回復。	
71	B07000227	12	年	女性	意識消失	-	17:00~ 18:00	-	-	-	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	No	服用後、就寝。夜中に急にトイレと違う方向へ歩き出し倒れた。その後、トイレへ向かって歩いていったがトイレの前でもう一度倒れる。両親が近くの内科へ連れて行きタミフル服用を中止。点滴を受けて回復した。発現4日後当院再受診。
72	B07000267	12	年	男性	臆妄	2006/3/18午後 ~3/18午前	-	38792	夜	-	No	-	-	-	発熱持続	Yes	No	No	No	うわごと(非重篤)、テレビが追ってくる夢、道路で寝ている夢、眠りながら手を上げていた。
73	B07000289	12	年	女性	①意識消失 ②てんかん	-	-	2007/2/15 ② 2007/2/16	①21:00 ②18:20	-	No	-	2か3分	Yes	解熱後2日 ~3日後	No	No	No	-	①意識喪失、痙攣発現。 ②食事中に意識喪失、2~3分倒れる。
74	B07002073	12	年	女性	大発作痙攣	2007/3/19 2007/3/20 2007/3/21	-	-	-	-	No	-	2-3秒	Yes	発熱持続	No	No	No	No	3月22日(11:00)外来受診時(38-39°C、咳も強い)。胸部x-P撮影中にGTC5秒。その後、1分後に意識もどした。点滴確保し、精査目的のため、他院へ紹介受診となる。胸部x-p上気管支影の増強は見られたが、明らかな肺炎像はなかった。詳細不明
75	B06028128	13	年	男性	①妄想 ②幻覚 ③異常行動	①②③ 2007/02/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
76	B06026622	13	年	女性	意識消失	2007/2/28	9:30	2007/2/28	19:20	X	No	-	1分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	椅子に座って辛がり、立った瞬間にフラフラしたため、母に介抱されながら階段を昇降した。体に力が入らず脱力状態。母が階段の上方から両腕をかかえ、祖母が階段の下方から両足を持って運んでいた。開眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、祖母は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院。本人は階段昇っている途中より、救急隊が到着するまでの間は覚えていない。(19:40)救急車で来院時は意識清明だが、すぐに入眠するような状態、呼名にはすぐ開眼し、応答も運動も正常、麻痺なし。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	覚醒直 後に発現 したか	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復 したか	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 障害等の既 住	睡眠覚醒 障害等の家 族歴	乳児に 対する 反応	他剤によ る「異常な 行動」の副 作用歴	異常な行動 に関する既 住歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚 を見たのか、親が幻覚を見たように言っているの か?)
77	B07000211	13	年	男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12月1日抑うつ、無気力、自殺企図発現。マスコミの報道により3月28日に患者様より薬局に電話連絡あり。「タミフル服用後(2003年12月1日ごろ)から最近までずっと上記の副作用が出ている。長期継続することもあるのか?との問合せ内容により、中外DICにTEL。12月1日に発現との報告であるが、正確にこの日が発現日であったかどうか不明とのこと。
78	B07000256	13	年	女性	2007/3/10 2007/3/11 2007/3/12 2007/3/12	夕方 期 夕方 期 夕方	-	No	-	No	No	解熱過程	Yes	-	-	No	No	無	3月13日 ぼんやりして視線合わず(学校より帰宅後)。3月14日 登校。学校では一日ぼんやりしたり、奇声を上げていた。帰宅時間になっても、自宅が分からないため、友人に連れられて帰宅。視線合わず。友人・家族の名前、自分の名前が言えない。→救急外来受診後、入院となる。3月15日 視線合うがレスポンスは悪い。記憶曖昧。3月16日 視線合い活発となる。記憶変化なし。3月17日 活発で普段通り。退院となる。3月20日 退院後診察。記憶は戻っており、回復を確認。
79	B07000088	14	年	女性	2007/3/7	11:00	2007/3/8	2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月8日(2:00)トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。(2:30)救急車で運ばれてきたが、その際は意識は回復していた。
80	B07000123	14	年	男性	2007/1/8	16:00	2007/1/8	16:30	-	No	-	発熱持続中	-	No	No	-	No	無	2007/1/8 入院時、体温:39.2℃。(18:00)A型インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/回内服。(16:30)異常行動発現。もうろうとして意識がクリア。「俺を殺す気か?」と言った。(20:00)2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。熱38.0℃。「死ぬと言ったのか?」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの?」により意識が戻った。その後は普通。ご飯食べた。(22:00)2F個室で就寝。(24:00)意識もうろう「何で、何で?」と言い泣いた。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんているの?」と言った。熱37℃。2007/1/9 (8:00)熱が下がって普通。異常行動回復。インフルエンザの転帰:軽快。
81	B07000242	14	年	女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	
82	B07000257	14	年	男性	-	-	服用後	○	Yes	-	30分	No	解熱過程	No	No	No	No	無	(2007/3/14)本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れた。幻聴、幻覚、異常行動発現。 (2007/3/16)幻聴、幻覚、異常行動回復。
83	B07000214	15	年	男性	-	-	-	○	Yes	-	20~30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	無	寝ていたのが起き出し、しなかがわさをさす等意味不明の発言あり、何かを探す様な動きを繰り返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後着変なし、本人全く記憶なし。
84	B07000113	16	年	男性	2007/3/2	午前中	2007/3/2	16:50	X	直後の定義がわかりませんが、覚醒後トイレに行ってから	4.8	3~4分	-	解熱過程	-	No	No	-	熱性痙攣
85	B07002390	16	年	男性	2007/1/22 2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25 2007/1/28	(夕) (朝) (夕) (朝) (夕) (朝) (夕) (朝)	-	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	-
86	B07014580	16	年	女性	2007/2/14 2007/2/15 2007/2/15 2007/2/16 2007/2/16 2007/2/17	夕 期 夕 期 夕 期	2007/2/22	-	X	No	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/02/14夜 インフルエンザと診断、本剤処方。 2007/02/18 期より解熱。 2007/02/22夜 ポーツとした表情で「このまま死んだら楽かな」「お世話になりました」の様な発言があるとの電話があり、自殺願望かもしれないから、そのような発言が再びあれば病院搬送を指示する。 2007/02/26 自殺願望的な発言は消失したが、念のため、他院精神神経科に紹介する。 2007/03/01頃 自殺願望疑いは回復。